

株式会社千葉ステーションビル

ESG Report 2023

発行：2023年6月20日



PERIE



ちばSDGs

千葉県PR戦略推進課 ちばSDGs

目次

- 1 企業情報
- 2 トップメッセージ
- 3 安全・安心の追求
- 4 サステナビリティ活動テーマ
- 5 環境(E)
 - (1) 環境課題への対応
 - (2) サステナブルな社会の実現
- 6 社会(S)
 - (1) 地域創生・くらしづくり
 - (2) 社会の教育や文化発展への貢献
 - (3) 将来世代への支援(キャリア支援・産学連携)
 - (4) 千産千消
 - (5) 幅広い事業展開
- 7 企業統治(G)
 - (1) 企業統治
 - (2) コンプライアンス教育
 - (3) 雇用と人材育成
- 8 活動トピック 2022年度実績一覧

1 企業情報

企業理念

Mission Statement

私たちは、駅を中心とした
交流の場を創出し、お客さま満足を
追求するとともに、地域の皆さまに
信頼される企業を目指します。



会社概要

Company Profile

会社名: 株式会社千葉ステーションビル
代表者: 代表取締役社長 弭間 俊則
所在地: 千葉市中央区新千葉一丁目7番2号ペリエ+plusビル
会社設立: 1961年8月1日
事業内容: (1)店舗、事務所等の管理および運営

(2)不動産の貸付業
(3)駅業務の受託
(4)物販および飲食業

資本金: 2億円
売上高: 482億円(2022年度テナント売上高)
社員数: 227名(2023年4月現在)
施設名: (店舗) (受託駅)

ペリエ千葉 海浜幕張駅
ペリエ西千葉 幕張豊砂駅
ペリエ稲毛 検見川浜駅
ペリエ津田沼 稲毛海岸駅

ペリエ西船橋 (ECサイト)
ペリエ海浜幕張 ペリエ公式オンラインストア PERIE Online JRE MALL店
ペリエ検見川浜 <https://www.jreastmall.com/perieonline>
ペリエ稲毛海岸 (ホール)
四街道駅ビル ペリエホール
アルカード茂原 <https://www.perie.co.jp/chiba/periehall/>

PERIE

PERIE Online
JRE MALL店

PERIE HALL
ペリエホール

四街道駅ビル

アルカード茂原
Arcade Mobara

1 企業情報

● ペリエ+plus ビル(本社) 交流と創造を育む拠点、「次世代コンパクトオフィス」



千葉ステーションビルは、2021年に創立60周年を迎えました。2022年3月に完成した新社屋の名称「ペリエ+plus ビル(ペリエプラスビル)」には、次の100周年を見据え、次世代へつなぐ変化への対応と新たな付加価値の創造・可能性を追求し、成長し続けるという意味を込めています。

業務のIT化の推進、フレックスタイム制、フリーアドレスの導入、コミュニケーションスペースの活用など、効率化とともに、働きやすい職場づくりの実現に努め、社員同士のコミュニケーションの活性化を図ることはもとより、まちとつながる交流拠点として、新たな価値を創造し更なる成長を目指します。



● 各種認定取得



ちばSDGs

千葉県PRマスコットキャラクター チーバくん



認定番号 22 509 001



当社は、SDGs達成・地域活性化をお客さまと共に推進する取り組みや、持続可能な社会・地域を支える人財育成・キャリア支援、環境に配慮した施設運営と共に、お客さまが「安全・安心」にご利用いただける店舗づくりや、多様な人が働きやすい職場環境の整備に取り組んでおり、その実績や姿勢が認められ、各種認定を取得しました。

- ・「ちばSDGsパートナー」制度において、2022年3月23日、パートナー企業(登録番号: 567)に認定・登録
- ・公益財団法人日本環境協会エコマーク事務局が制定するエコマークNO.509「商業施設: Version1」の認定基準において、ペリエ海浜幕張が2022年4月22日付で、商業施設として千葉県初のエコマーク認定を取得
- ・次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業として、2022年11月28日、「くるみん」認定を取得
- ・女性活躍推進法に基づく優良企業として、2023年2月24日、「えるぼし」認定三ツ星を取得

2 トップメッセージ



代表取締役社長

弭間 俊則

当社は、駅ビル「ペリエ」の開発・運営を主力として、近年ではJR東日本京葉線駅業務の一部を担っており、駅とペリエ、周辺エリアと一体となって、「ペリエステーション」全体で沿線をご利用になる皆さまのくらしやすさ向上や新たなくらしづくりに努めております。

わたしたちが、駅を中心とした交流の場として魅力あるサービスを展開していくにあたっては、鉄道としての安全・安心を基本に、売り手よし・買い手よし・世間よし・未来よしの「四方よし」を特に意識し、地域の皆さまに信頼される企業を目指していきます。

皆さまのおかげにより旗艦店ペリエ千葉は今年開業60周年を迎えることができましたが、更に持続的な企業経営を行うためには、地域社会が抱える課題解決においても、様々な方々との連携を通じて積極的に取組み、共創関係を築きあげていくことで長期的な経営リスク軽減ばかりでなく、今後変わりゆく社会構造を見据え柔軟に対応した新たな価値創造を行い続ける必要があると捉えています。

本レポートは、当社のESG（環境・社会・企業統治）に関する方針や取組み等について昨年より公表をはじめましたが、1年が経過し内容を更新いたします。当社をとりまくステークホルダーの皆さまにおかれましては、本レポートを通じて当社の世間よし・未来よしにも軸足を置いた取組みへのご理解を深めて頂ければ幸甚であります。

2 トップメッセージ



【Environment／環境】について

JR東日本グループ全体の長期目標である2050年度CO₂排出量実質ゼロに向け、よりエネルギー効率の高い施設づくりや運営マネジメントを基本に、紙資源・水資源の削減やリサイクル等にも努めています。

また、山や海など自然豊かな千葉県において、自然災害による環境リスクを十分認識しており、地域の環境保全にも取り組む一方、起こりうる災害リスクを想定した対策を講じています。



【Society／社会】について

当社の事業活動においては、お客さまをはじめ、当社事業に関わるすべての皆さまの「安全・安心」を常に意識して取り組んでいます。

一方、地域課題の解決に向けて当社は、千葉県の産業活性化に寄与する「千産千消活動」の推進、次世代活躍の機会提供として産学連携を通じた人財育成・キャリア支援に取り組むほか、地域の賑わいづくりに向けた沿線イベント活性化にもかかわり、地域の皆さまとの連携をより深め共創関係の構築に努めています。



【Governance／企業統治】について

コンプライアンス・ガバナンスの強化と継続的な見直し、これに基づく業務改善を常に行い、効率的で働きやすい職場づくりに努めています。その一環として、多種多様なライフスタイルを互いに尊重できるような環境の整備を進め、育児・介護と仕事の両立をはじめ、テレワークやフレックス勤務制度の導入などを推進しています。

3 安全・安心の追求

安全・安心な館づくり

● 食品衛生管理の向上

ペリエ全館の食物販および飲食店を対象とした衛生検査を外部に委託し、食品衛生管理の向上に努めています。課題のあるテナントにおいては、テナントの本部と協議を行い、原因究明と管理体制の改善に努めています。

【主な検査内容】

- ・ 厨房検査 …拭き取り検査
目視点検(製造設備・製造過程、異物混入防止、従事者衛生管理ほか)
- ・ 表示点検 …飲食店/メニューのアレルギ-情報の記載有無と正確さ
物販店/表示ラベルやプライスカード等の表示が適切か
- ・ 食材検査 …お客さまに提供する状態の食材を収去し、細菌数の良否を判定
販売商品を検査機関へ持ち帰り、細菌数の良否を判定



● サービス品質の向上

研修のオンデマンド化・アーカイブ閲覧、インフラ(タブレット等)のさらなる活用など、効率的でよりショップスタッフに身近なツールの整備に取り組むことで、ショップ業務の時間確保にも配慮し、フォローアップを推進しています。また、各館で実施していた入店時研修を一元化し、館間のスタッフ交流を育みながら、共通ルールやペリエのホスピタリティ「ペリエマインド」をレクチャーすることにより、お客さまにお届けするサービス品質の向上と平準化を図っています。

【ショップスタッフ研修・コミュニケーションツールの整備】

【オンデマンド化】



【防災マニュアル ※多か国語対応】

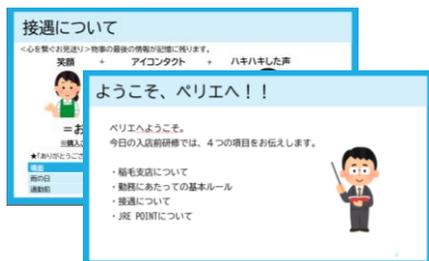


【タブレットでの情報閲覧】



【サービス品質の向上と平準化】

【入店時研修の共通化】



【ショップスタッフ研修「車いす体験」】



【駅・SCの運営室一体化(ペリエステーション)】



4 サステナビリティ テーマ

商業施設「PERIE」(ペリエ)をはじめ、当社の事業を通じて豊かな生活の持続的な発展を目指すサステナブルな活動として、「PERIE SUSTAINABLE LIFE～ペリエで出逢う、持続を可能にする想い～」をテーマに掲げ、毎日ご利用いただく施設だからこそ出来る、サステナブルな活動を皆さまにより身近に取り入れていただく様々な機会と場づくりを推進しています。また、当社の企業理念である「交流の場の創出」に基づき、お客さまと共に、行政、学校、地域事業者の皆さまとの連携を広げることで、地域一体となったサステナビリティの波及と定着を目指しています。

<2022年の取り組み>

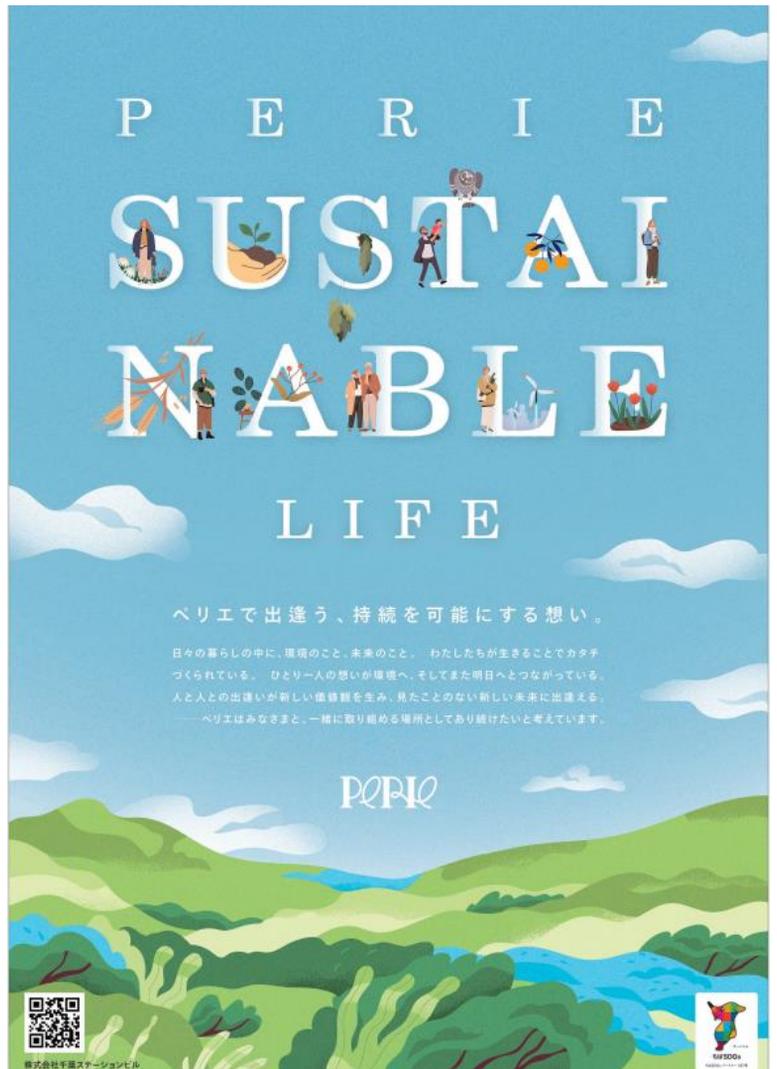
第1弾 「ペリエで省エネ WARM SHARE」

第2弾 「ペリエで“身近なサステナブル”アクション(3R・アップサイクル)」

第3弾 「ペリエの千産千消フェア」

PERIE SUSTAINABLE LIFE

ペリエで出逢う、
持続を可能にする想い



日々の暮らしの中に、わたしたちが生きることでカタチづくられている、
環境のこと、未来のこと。
ひとり一人の想いが環境へ、そしてまた明日へとつながっている。人と人との
出逢いが新しい価値観を生み、見たことのない新しい未来に出逢える。
ペリエはみなさまと、一緒に取り組める場所としてあり続けたいと考えています。

5 環境(E)

(1) 環境課題への対応



JR東日本グループは、「ゼロカーボン・チャレンジ2050」を掲げ、長期目標である2050年度CO₂排出量実質ゼロに向けて取り組みを推進しています。

当社はグループの一員として、エネルギー管理体制を構築し、省エネの促進、廃棄物の削減、資源循環など環境問題にも積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に努めています。

● 環境データ推移

[商業施設関連]

資源・廃棄物の種類		単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
エネルギー使用量(原油換算)		Kl	5,098	4,852	4,646	4,553
エネルギー単位			0.04152	0.03952	0.03873	0.03732
対2019年度比		%		95.2%	93.3%	89.9%
一般廃棄物	リサイクル率	%	65	61	64	63
産業廃棄物	リサイクル率	%	52	47	72	91
水資源		m ³	106,775	101,039	95,599	97,941
紙資源		kg	6,703	4,387	4,875	4,084

※2018年6月にペリエ千葉がグラウンドオープンしたことにより、エネルギー使用量が増加。このため、当社は2019年度比を基準としています。

- エネルギー使用量 … コロナ禍での営業時間短縮に加え、夏期の国内電力不足や電力料金高騰に対応した緊急的な節減策により使用量が大幅に削減しました。また、高効率機器更新や空調運転効率化の取り組みにより節減を実施しました。
- 一般廃棄物 … リサイクル出来ない可燃ごみよりもリサイクル可能な食品廃棄物等の削減量が上回り、リサイクル率が1%減少しました。
- 産業廃棄物 … 2021年9月より汚泥を再生処理可能な処分場へ変更し、2022年度は通年化となったため、リサイクル率が大幅上昇しました。
- 水資源 … 感染防止対策による営業時間短縮の緩和、来館者増加等により、使用量が昨年度より2.5%増加しました。
- 紙資源 … 本社新設移転(ペリエ+plusビル新築:2022年5月)に伴うDX化の一環で導入したフリーアドレス制度、テレワークスタイル浸透の効果が大きく、使用量は昨年度より16%減少しました。

● JR東日本グループ「ゼロカーボン・チャレンジ2050」への取り組み【当社の環境長期目標】

【廃棄物の削減】 2030年度までに2019年度比10%削減

【リサイクル率の向上】 2030年度までに2019年度比10%向上

【エネルギー(原油換算)原単位】 5年度間平均1%削減

【2030年度のCO₂排出量】 2019年度比50%削減

5 環境(E)

(1) 環境課題への対応

省エネへの取り組み「ライトダウンキャンペーン」「クールシェア」「ウォームシェア」

地球温暖化防止対策をはじめ、電力不足における商業施設での協力等、省エネ活動に取り組んでいます。オフィスや後方施設においても、使用頻度の低いエレベーターの運転休止や、室温調整等、経常的な節電に努めています。



【ライトダウンキャンペーン】

環境配慮の取り組みとして、施設や家庭の照明の消灯を呼びかけるキャンペーンを実施し、ペリエ海浜幕張、検見川浜、稲毛海岸では照明の一部箇所を除き、各施設で2時間消灯を行いました。



【クールシェア】

8月末から2週間、ペリエ海浜幕張では、猛暑を乗り切る為の、スイーツメニュー、夏野菜、アイスドリンク、ピリ辛アイテム等夏オススメのイチオシ商品を紹介、エントランスは涼しさを感じられる装飾により、ご家庭のエアコンを使わず、ペリエにお越しいただく施策を実施しました。



【ウォームシェア(PERIE SUSTAINABLE LIFE)】

「ペリエで省エネ WARM SHARE」では、ペリエ各館にて冬の寒さを乗り切るあったかい&辛い「HOT メニュー」、防寒アイテム、家族の団らんにオススメの商品のご紹介、お子さま向けのクイズ形式でSDGsを学ぶイベント等を実施しました。

地域に寄り添う活動 環境美化

ペリエステーション社員による線間清掃や、全社員で取り組む、施設周辺エリアや街の清掃活動など、暮らしやすい街を目指して、地域の環境美化に努めています。



【クリーンアップデー】



【市内の美化活動への参加】



【終電後の線間清掃】

5 環境(E)

(2) サステナブルな社会の実現

ご来館されるお客さまに楽しくご参加いただき、3R・アップサイクル等の資源循環や、SDGsを学ぶ体験型ワークショップ等を開催、また、サステナブルな活動をしている団体等との協力により回収資源の利活用・寄付活動を行っています。日々ご利用される施設の特性を活かし、皆さまの生活により身近なサステナビリティの波及を目指しています。

サステナブルをより日常へ。地域みんなで取り組む「サステナブルイベント」



[パリエで身近なサステナブルアクション]



[わくわくフェスタ]



[上:館内ポスターを使ったアート作品
下:サステナブルワークショップ]

パリエでは、保育園や大学をはじめ、地域の皆さまの協力のもと、お客さまが楽しく参加できるワークショップを実施しています。パリエの館内に掲出され捨てられるはずだった紙ポスターを利用して、新たなアートを誕生させた「サステナブルアート展示」や、使わなくなった身近なものを利用した作品作り・ゲーム等が体験できる「サステナブルワークショップ」、沿線の魅力と共にSDGsを体験する「わくわくフェスタ」等、地域の皆さまと一緒に取り組む機会を創出しています。

プレスリリース: 「パリエで“身近なサステナブル”アクション」 <https://www.perie.co.jp/files/upload/1675926751069185700.pdf>

「パリエ海浜幕張presents わくわくフェスタ」 <https://www.perie.co.jp/files/upload/1667880584036161400.pdf>

チャリティ・回収活動



循環型のお買物を推進する“下取りキャンペーン”、フードロス対策“フードドライブ”をはじめ、資源循環と共に活動団体を通して寄付へ貢献等、お客さまが日常にご参加いただけるよう各館にて定期開催しています。

[活動紹介(主な実施館)]

- ・衣料品回収(パリエ千葉・稲毛・西千葉・津田沼・西船橋・海浜幕張・検見川浜・稲毛海岸)
- ・フードドライブ(パリエ海浜幕張・検見川浜・稲毛海岸)
- ・切手・カイロ回収(パリエステーション)
- ・ブックドライブ(パリエ千葉)
- ・ペットボトル キャップ回収(パリエ海浜幕張・稲毛)
- ・コスメ回収(パリエ千葉)

6 社会(S)

(1) 地域創生・くらしづくり

千葉の持続的発展に向けて、JR東日本グループ一体となった人材力を活かしながら、地域の交流の場となる駅・商業施設の磨き上げや、新規事業の展開を通じて「地域の魅力や良さ」を発掘・発信し、地域の皆さまと共に、連携をより深めた共創関係の構築に努めています。

駅と商業施設が一体となった「ペリエステーション」



JR東日本から駅業務を受託し、地域の皆さまとの交流の場となる駅・商業施設を一体運営することで、従来の枠組みにとらわれない新たなサービスの提供を目指しています。

周辺エリアと連携し、沿線の皆さまに、より便利で有意義な時間を過ごしていただくための開発や取り組みを、ペリエステーションが要となって推進していきます。



【ペリエステーション】

京葉線新駅「幕張豊砂開業まつり」の開催



幕張豊砂駅開業時に、これまで当社が培った賑やかなのノウハウや地域とのつながり、駅を受託することによるメリットを最大限活かし、JR東日本・千葉県・千葉市・イオンモールと連携し、来訪されたお客さまに楽しんでいただけるよう、幕張豊砂駅開業記念イベントに取り組みました。

【プレスリリース】

<https://www.perie.co.jp/files/upload/1678173266022868500.pdf>

【沿線・周辺エリア・地域の皆さまとの様々な企画開催】



ペリエステーション4駅を巡るスタンプラリー、駅構内に千葉県産の桜などを使用したフラワースポットの設置、駅ピアノを設置する等の企画を実施し、多くのお客さまにイベントに参加していただくことができました。また、千産千消催事「ちばのいち」を開催し、千葉市を中心に活躍する事業者計6店舗が出店されました。駅開業に伴い、県内外から多くのお客さまが駅にいて、周辺施設でのイベントも合わせ、大きな活気創出と千葉のブランドを発信できる機会となりました。

6 社会(S)

(1) 地域創生・くらしづくり

周辺施設との連携イベント



ペリエでは、日々ご利用いただく駅・駅ビルの特性を活かし、周辺施設との連携イベントを実施しています。街の魅力を知っていただくきっかけ作りや周辺エリアの活気創出に向け、地域に根付いた取り組みを目指します。

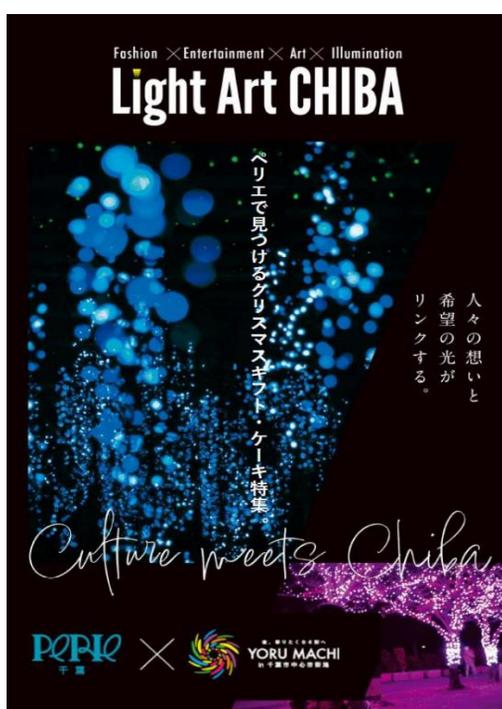
【千葉えきまつり】

ペリエ千葉と、千葉駅周辺エリアとの連携による「千葉えきまつり」を開催し、2022年に5周年を迎えました。各施設の魅力を活かしたイベント企画の実施と共に、施設間の回遊とご利用を促す共通キャンペーンを行い、多くのお客さまで賑わう機会となっています。

【えきなかどうぶつえん】

ペリエステーションでは、市内の動物園やモノレールと連携した「えきなかどうぶつえん」を実施しています。動物と触れ合える撮影会や、オリジナルグッズを景品としたスタンプラリー、パネル展示や縁日など、学びと体験を提供することで、京葉線沿線の魅力発信に取り組んでいます。

千葉市中心市街地とつながるクリスマスイベント『Light Art CHIBA PERIE×YORU MACHI』



千葉市内で開催されている千葉市中心市街地活性化イベント「YORUMACHI(ヨルマチ)」と連携し、駅と町との回遊をテーマとしたクリスマスイベントを開催しました。オープニングイベントでは、「アイススケイティングファッションショー-presented by PERIE」を主催。駅と街をつなぐイルミネーションと共にクリスマスの華やかで特別な千葉での体験をお届けしています。

【ペリエ千葉イルミネーション】



【タブロイド誌発行】



【街で使えるグルメチケット】

中心市街地とペリエ千葉の飲食店で使えるグルメチケットを、キャンペーン景品として提供。

6 社会(S)

(2) 社会の教育や文化発展への貢献

ペリエ千葉「ROCK IN JAPAN FES. 2022キャンペーン」

rock'in presents
ROCK IN JAPAN FES. 2022
CAMPAIGN

PERIE Summer 2022

ペリエ千葉 限定アイテム
PRESENT

2022. 8.6 SAT - 14 SUN

先着 3,000 名様

期間中、ペリエ千葉の対象店舗で1回のお買い上げ1,000円以上ご購入いただき、ROCK IN JAPAN FES. 2022の電子チケットをご提示いただいた方、先着3,000名様へROCK IN JAPAN FES. 2022ロゴ入りステッカーをプレゼント。

期間限定の購入メニュー
引換 本館1階 総合インフォメーション
受付 10:00~21:00
（受付時間 変更あり）

ペリエ千葉
期間 本館1階 総合インフォメーション
受付 10:00~21:00
（受付時間 変更あり）

RESTURANT CAFEは22時半まで営業中！
21時以降ペリエエンディング（本館5F）をご利用いただきましたお客さまは、各ショップにてステッカーの引き換えができます！

ROCK IN JAPAN FES. ポスター展
2022. 7.16 SAT - 8.31 WED

2000年から始まったROCK IN JAPAN FES.の歴代のポスターを展示！今年のオフィシャルグッズも一部展示しています。 場所 本館4F エスカレーター口

OFFICIAL EXHIBITION

フェス当日は、千葉駅 西ロータリー → フェス会場 までの無料シャトルバスが運行！
※バス・バス運行：2022年8月6日（土）7日（日）、11日（水）、12日（木）、13日（金） ※運行時間：千葉駅～会場 10～11:30 / 会場～千葉駅 18:30～21:30

詳しくはペリエ千葉公式HPをご覧ください。 www.perie.co.jp/chiba

2022年に初めて千葉で開催された日本最大の野外ロック・フェスティバル「ROCK IN JAPAN FES. 2022キャンペーン」との連携イベントをペリエ千葉で実施しました。また、千葉駅発着シャトルバスの告知・利用促進に協力、会場周辺の混雑回避に努めました。次世代を担う若者や音楽文化を取り入れた新たな振興の推進により、お客さま や地域と一体になって、魅力溢れる千葉のくらしづくりを目指しています。

[ペリエ千葉 連動企画(ポスター展&グッズ展示)]



[告知ポスター]

パートナーシップ・応援イベントの開催



©JEFUNITED



当社は、千葉のプロサッカーチーム「ジェフユナイテッド市原・千葉」のオフィシャルパートナーです。また、2023年5月より、プロバスケットボールチーム「ALTIRI CHIBA(アルティリーチバ)」とスポンサー契約を締結しました。スポーツを通じて千葉を盛り上げ、地域の皆さまの心身の健全な発達と、文化の醸成に貢献します。



[ペリエマッチデーの開催&応援キャンペーン]
毎年開催する「ペリエマッチデー」では、ご来場の方に参加いただけるイベントを展開。2021年、2022年は「ジェフ応援キャンペーン」を当社の社員が発案し、選手に応援メッセージを届けました。



6 社会(S)

(2) 社会の教育や文化発展への貢献

大賀ハス開花70周年記念事業 「ちはなちゃんモザイクアート展」



オオガハスは千葉市が発祥の地であり、市の花に制定され、重要な地域資源の一つです。ちば産学官連携プラットフォームと連携し、「大賀ハス開花70周年記念事業」の一環として、市民の皆さまから集めたぬり絵を用いて千葉の大学生・短大生がまとめた「ちはなちゃんモザイクアート展」を、パリエ千葉エキナカを会場に開催しました。

【ちば産学官連携プラットフォーム】

URL:<http://www.pf-chiba.org/>

コロナ禍での学校活動を応援 「千葉経済大学附属高等学校の生徒による販売実習会」



長く続くコロナ禍において学校活動の場が制限される中、地元高校生の活動を応援する目的で、千葉経済大学附属高等学校の授業の一環として模擬株式会社を立ち上げて企画・開発した商品を、学生の皆さんが直接販売する“販売実習会”をパリエ千葉エキナカにて開催しました。



千葉市夏休みおしごとと感動体験実行委員会 「ワクワクワークデー」



パリエ千葉は、千葉駅周辺の中心市街地を舞台とした子どもたちの仕事体験イベントを主催する実行委員会のメンバーとして、ショップと共に体験を提供し、千葉駅周辺施設が一体となって、子どもたちが普段は経験できない「おしごと」を楽しみながら学べる、夏休みの思い出作りに取り組んでいます。



6 社会(S)

(3) 将来世代への支援

社会課題に積極的に関わりながら、産学連携による人財育成、キャリア支援など、事業活動を通じて地域の皆さまとの連携により、千葉でのより豊かなくらしづくりに向けた取り組みを推進しています。

キャリア支援・産学連携



【ハッピー製菓調理専門学校】

「カリスマシェフになりたい」「小さくても自分のお店を持ちたい」。専門学校と協働し、オリジナルスイーツの考案から販売まで、ペリエ千葉が、学生さんの夢の一步一步をバックアップします。製菓・製パンの技術と共に、販売会ではホスピタリティマインドの醸成など、お客さまに触れあう機会と経験の場を作りあげています。



【神田外語大学】

地域貢献と人財育成を推進することを目的として、千葉ステーションビルと神田外語大学は包括的連携に関する協定を締結し(2022年3月)、協働してペリエスタッフ用の非常時対応マニュアルの中国語版・韓国語版を作成いたしました。これからも地域における社会的な課題の解決と、地域の皆さまの安心・便利なくらしづくりに向けて共同の取り組みを行ってまいります。



【敬愛大学】

千葉県の抱える様々な課題の解決に貢献する人材育成を進める敬愛大学と連携し、地域を豊かにする「千産千消プロジェクト」を実施しました。ペリエ稲毛の運営社員が大学を訪れ、学生の皆さまと意見交換を実施。2022年度は千葉県ブランド「チバザパーク」のPRと共に、「ペリエの千産千消フェア」を作りあげました。

さまざまな連携と協働の輪

- ・県内農業関連学校(「高校生による生産物販売実習会」開催)
- ・千葉ビューティー＆ブライダル専門学校(「パーソナルカラー診断＆無料ポイントメイク」開催)
- ・NPO法人千葉大学 環境ISO学生委員会(「サステナブルワークショップ」など)
- ・第二海浜幕張保育園(「七夕飾り・クリスマスイベント」実施)

6 社会(S)

(4) 千産千消

地元産品の消費拡大・生産者支援に取り組む「千産千消」を推進することで地域活性を図り、SDGsの掲げる目標に向かい、持続可能な発展を推進しています。また、JR東日本グループと共に、地域の皆さまと一体となって魅力をも高める千葉ブランドの向上を目指しています。

催事「ちばのいち」



千葉の生産者が一丸となって千葉の逸品を販売する催事「ちばのいち」を開催しています。また、旬の食材をエキナカでお届けする「いちごマルシェ」等、地域事業者と連携したバラエティ豊かな千産千消に取り組んでいます。

ペリエの千産千消フェア「★きらり ちば “千葉県的美味しいもの”」

【リーフレット】



【特設WEBサイト】



【販売イベント】



ペリエでは、各ショップにて千産千消商品の販売を推進しています。定例開催している“千産千消フェア”では、2022年度、ペリエ稲毛店が中心となり、敬愛大学と協働して千葉県の抱える課題抽出から研究を重ね、“チバザポーク”を特集。店内での販売イベントや特設WEBサイトの公開等、千葉県産ブランド魅力を発信し、ペリエ全館キャンペーンと連動したPRを行いました。

「PERIE MARCHE(ペリエマルシェ)」



駅ビルから千葉の新鮮でおいしい食の魅力発信するショップ「PERIE MARCHE」を展開しています。千葉の特産物を使用した商品を数多く企画・販売し、地元のお客さまに長年愛される「株式会社菜花の里」が店舗運営を行い、ペリエと共に、千葉に住む人、千葉を訪れる人、みなさまを元気にしていきます。

ショップロゴは、当社の社員がデザインしました。

店舗：ペリエ千葉／ペリエ西船橋（2023年6月現在）

6 社会(S)

(5) 幅広い事業展開

変化する生活様式に合わせてお客さまのニーズにお応えし、さらなる地域経済発展に向けて、既存事業に留まらない新たな事業展開を行っています。

ペリエ公式オンラインストア「PERIE Online JRE MALL店」の展開

PERIE Online
JRE MALL店

URL : <https://www.jreastmall.com/perieonline>

豊かな「千葉」で生まれ育ち、厳選された「千葉のいいもの」、ペリエに出店しているショップが厳選した「ペリエのいいもの」を展開するECサイトを運営しています。JRE MALLと連携した電子チケットの販売をはじめ、現地への誘客にも取り組んでいきます。



ブランド数:全51 商品数:約800点(2023年3月時点)

食品

食肉加工品
魚加工品
千葉の名店など

グロッサリー

調味料
はちみつ
ジャムなど

ギフト

カタログギフト

酒

日本酒(CHIBA SAKE)
クラフトビールなど

スイーツ

スイーツ・菓子
フルーツ
チーズなど

食品・酒

冷凍総菜
ドレッシング
クラフトビールなど

電子チケットの販売による地域ならではのグルメやアクティビティへ誘客



JRE MALLと連携したサービスで電子チケットを、PERIE Online JRE MALL店にて発売。スマホ1台で購入・ご利用できるサービスにより、お客さまへの利便性と共に、リアルショップとの連動や、千葉の魅力溢れるグルメやアクティビティを提供することで、現地への誘客に取り組んでいます。

URL : <https://www.jreastmall.com/shop/c/cB11801/>

地域産品を活用したブランド・商品開発



地域貢献の取り組みとして、昨今のコロナ禍の長期化や牛の育成コストの高騰の影響で生じている酪農の危機に対して、牛乳の消費量を拡大すべく、千葉が誇る「牛乳」を軸としたスイーツブランド「ぎゅぎゅっと MILK」を立ち上げ、第一弾商品“ミルクプリン”を販売しています。(共同開発:株式会社菜花の里)

6 社会(S)

(5) 幅広い事業展開

JR東日本グループとの連携 「はこビュン」 朝獲れ鮮魚 列車荷物輸送



JR東日本千葉支社との連携により、当日の早朝に水揚げされた「朝獲れ鮮魚」を特急列車を使用して、定期的にペリエへ配送する列車荷物輸送「はこビュン」を実施しています。

列車輸送の速達性を活かして、鮮度の高い食材を多くのお客さまにご賞味いただきたい想いから、千葉店・稲毛店での定期実施や、稲毛海岸店での食用菜花・切り花、海浜幕張店での岩手県産蠣の輸送・販売など取り組みの拡大を推進しています。



スタートアップ企業との連携

【ちば×アイカサスタートプロジェクト】

当社では、「よりお客さまにとって便利な施設の実現」、「ビニール傘使い捨て削減による資源循環社会の実現」を目的に、ペリエステーションを含む駅構内および、駅ビルに傘のシェアリングサービス「アイカサ」を2022年6月より設置を開始しました。

現在(2023年3月現在)、千葉県内に計36か所設置しております。

今後も、設置箇所の展開を、千葉市内を中心に推進して参ります。

【イベントサブスク“Sonoligo”千葉展開】

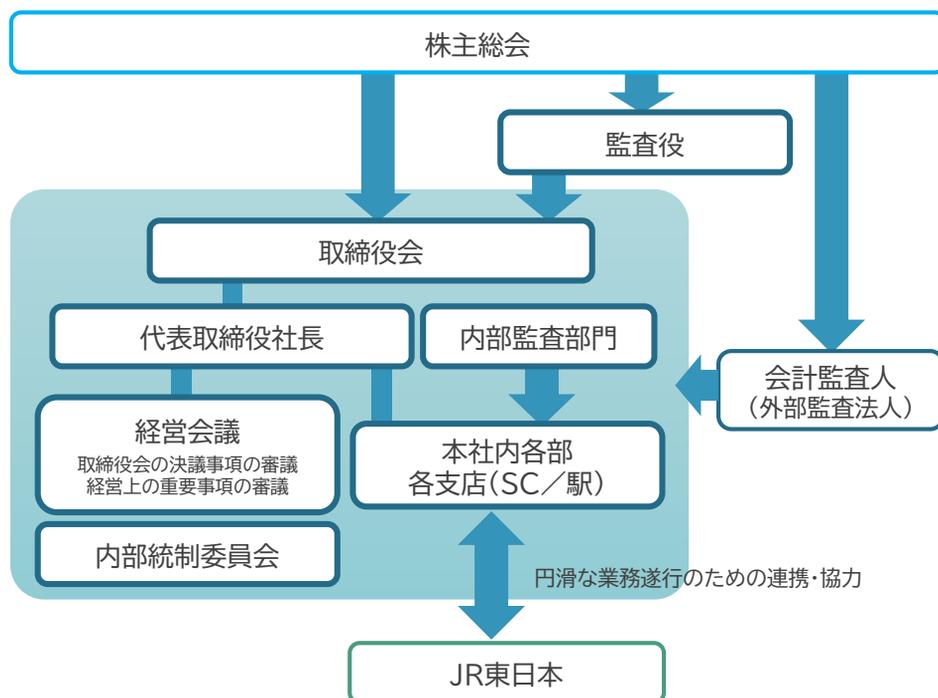
新しい文化体験に出会い、楽しむことを目的とした、「Sonoligo」(月額制でイベント参加し放題のサブスク)のイベントを、Sonoligo・JR東日本と共に参加者を募り、千葉市動物公園、千葉市美術館、千葉交響楽団、カヌースラロームセンター、千葉ZELVA、ジェフユナイテッド市原・千葉等の、イベントを開催されている事業者にご加入いただきました。

2023年2月には、千葉のPRとしてペリエお買物券とのセット販売を実施し、Sonoligoご利用者に、ペリエも楽しんでいただける特典を実施しました。

7 企業統治(G)

(1) 企業統治(ガバナンス)

コンプライアンス、安全・安心の確保、財政上の損失の防止、財務諸表の健全性の確保などに加え、新たな事業分野への発展などの観点も踏まえたリスクマネジメントに取り組むことを目的に委員会を設置し、継続的な見直し、これに基づく業務改善を常に行い、効率的で働きやすい職場づくりに努めています。



- ・ 原則として年10回の取締役会を開催し、重要な業務執行の決定、監督を行っています
- ・ 取締役会では、社外より取締役および監査役を入れ、幅広い視点から議論を行っています
- ・ 原則として週1回開催する経営会議では、取り締まり厄介の決議事項や経営上の重要事項の審議を行うほか、内部統制委員会を設置することにより、ガバナンスの強化を図っています
- ・ 内部監査部門が、本社内各部・各支店を対象として、適法かつ効率的な業務執行を確保するための監査を定期的実施し、その結果について、経営会議に報告を行い、課題の解決や不正・誤りの防止に努めています
- ・ 「統制状況の監査」を通じて、3ラインモデルによる内部統制の定着・ガバナンスの強化を目指しています
- ・ 監査役は、経営会議や取締役会など重要な会議への出席などを通して、各取締役の業務執行の監査を行っています
- ・ 会計監査については、会計監査人(外部監査法人)が監査を行っています

(2) コンプライアンス教育



全社員に対し、JR東日本グループ共通の「コンプライアンスアクションプラン」・「情報セキュリティ10ヶ条」を教材として、毎年、集合教育を実施し、職場におけるハラスメント防止や情報セキュリティの重要性の徹底を図っています。また、当社のWebサイトには、当社内に設置した「公益通報者保護法に関する相談窓口」を掲載し、社員をはじめ、取引先従業員からの相談等に対応しています。

7 企業統治(G)

(3) 雇用と人材育成

月平均所定外 労働時間	平均有給休暇 取得日数	育児休業取得 対象者数	育児休業 利用者数
7時間59分	13日	男性:4名 女性:4名	男性:2名 女性:4名
短時間勤務 制度利用者	過去3年間の 新卒採用者数	女性管理職の 比率	
22年:3名 21年:3名 20年:3名	22年:4名 21年:6名 20年:3名	27.3%	

表記のあるものを除き、各データは2022年度実績となります。

● 女性の活躍推進／ダイバーシティの推進

多様な社員の活躍促進を行うダイバーシティ推進に向け、当社は、育児両立・キャリア志向の多様化などニーズを踏まえて柔軟かつ多様な働き方を可能とする制度を拡充しています。産休・育児休暇はもとより、育児をしながらキャリア形成していくためのキャリアサポートや、今後においては特に、シニア人材の豊かな知見・経験を活かして将来を見据えたキャリアプランの構築を進めています。子育てサポートや女性活躍推進については、当社の取り組みが評価され、2022年度に「くるみん」 「えるぼし」の外部評価を得ています。



● 働き方の向上



本社ビル移転と共に、社内庶務業務(稟議・経理・契約等)の電子化や、コミュニケーションツールの活用(チャットアプリ／WEB会議等)と同時に、フレックス勤務制度の拡充やテレワークの導入により、働き方の効率化とサービス品質の向上に努めています。

また、スポーツ等の部活動やレクリエーション機会を推奨し、社員同士のコミュニケーションや心身のリフレッシュの場を創出しています。



当社はこれからも、様々な社員一人ひとりの活躍とウェルビーイングを高める環境構築を目指しています。

マテリアリティ (重要課題)	項目	活動トピック(2022年度実績)
●安全	究極の安全	駅とSCの融合(駅業務受託、駅・SC事務所一体化、連携施策の実施等)
		・周辺エリアのイベント等多客時対応 ・事故等における安全対応 ・JR東日本と連携したCS会議・事故防止会議、および訓練・教育等の実施
●環境	脱炭素	●エネルギー使用量掲出等によるショップスタッフ全体での省エネ推進 ●紙消費量の削減
	サステナブルな社会	●(認定取得)(商業施設として)千葉県初のエコマーク認定取得 ●(認定取得)ちばSDGsパートナー ●安全安心・快適な施設運営への意識強化、施設環境の維持向上 ・各種訓練(消防、全社防災、IP無線機等)、防犯講習、協力会社との連携、安全総点検の継続 ●終電後の線間清掃の実施 ●ライトダウンキャンペーン実施 ●館内証明の一部減灯による節電 ●厨房ダクト喚起の稼働時間帯の短縮による節電 ●空調温度の見直しによる節電 ●クールシェア/ウォームシェアスポット登録 ●クールシェアイベント実施 ●切手回収 ●【PERIE SUSTAINABLE LIFE 第1弾】ウォームシェアイベント実施 ●【PERIE SUSTAINABLE LIFE 第2弾】ペリエで身近なサステナブルアクション ・下取りキャンペーン/フードドライブ/ショップ取り組み推進 ・ペットボトルキャップ回収 ・ブックドライブ(館内 古本回収BOX設置) ・(学校連携)サステナブルワークショップNPO法人千葉大学 環境ISO学生委員会 ・(学校連携)植草学園千葉駅保育園のこどもたちによるサステナブルアート展示 ●海浜幕張わくわくフェスタ(JR東日本千葉支社、神田外語大学等地域連携によるSDGs) ・ゴミゼロ活動 ・(学校連携)SDGsが学べる「神田外語大学」特設ブース ・出張ピーチクリーン ・AED体験ブース ・KEIYO TEAM6、JR東日本千葉支社による特設ブース、体験ブース ・フードドライブ/古着回収 ・催事出店
	資源循環社会	●傘のシェアリングサービス「アイカサ」導入 ●フードドライブ&衣料品回収 ●使用済みカイロ回収 ※新習志野駅施策のサポート ●(学校連携)植草学園千葉駅保育園のこどもたちによるサステナブルアート展示 ●コスメ回収
	生物多様性の保全	●CHANGE FOR THE BLUE 千葉県実行委員会主催「海を綺麗にするアイデアソン」 参加
※環境優位性のさらなる向上と、サステナブルな社会の実現		
●社会	地域創生	●千葉ステーションビル×千葉市動物公園×千葉都市モノレール「えきなかどうぶつえん#2」 ●(千産千消)「ちばのいち」、JA連携等催事展開 ●(千産千消) ペリエマルシェ、房の駅などショップでの千産商品取り扱い ●千葉市動物公園主催 トークセッション「千葉市動物公園×太田ゆか「Live Safari from South Africa」」 ●(産学連携/千産千消)ハッピー製菓調理専門学校 学生によるスイーツショップ「パティシエのたまご」 催事 ●【PERIE SUSTAINABLE LIFE 第3弾】春のペリキャン/★きらり。ちば「千葉県のおいしいもの」フェア ・(千産千消)千葉県庁畜産課による千葉県牛乳無料配布 ・(産学連携/千産千消)千葉県産ブランド豚ご紹介イベント/PR企画 特設WEBサイト公開 ●京葉線 新駅 幕張豊砂駅開業まつり ・地元学生による駅構内へのアート(絵画・書道)展示 ・近隣施設との連携施策 迷路クリエイター×PERIE コレクションカードプレゼント ・駅ピアノ(島村楽器)/フラワースポット(千葉市園芸協会) ・JR東日本千葉支社/イオンモール株式会社/千葉市/千葉県 連携 ●千葉市商工会議所とのクリスマス連携イベント「Light Art CHIBA PERIE×YORUMACHI」開催 ●(JR連携)鉄道開業150年イベント 開催 ●はこビュンの定例化 ●(千産千消)オリジナル商品の共同開発 ●スタートアップ企業との連携(アイカサ運用/イベントサブスクSonoligoへの連携)

マテリアリティ (重要課題)	項目	活動トピック(2022年度実績)	
●社会	ダイバーシティ推進	●海浜幕張ダイバー通信刊行(四半期ごと 計4回/年) ●(産学連携)神田外語大と連携したスタッフ用異常時マニュアル多言語化 ●(認定取得)くるみん/えるぼし 認定取得	
	サービス品質	●入店時研修の共通化(サービス品質の向上と平準化) ●ショップスタッフ向け 車いす乗車体験の実施 ●(EC)ペリエ公式オンラインストアの運営・商品開発 ●(DX)デジタルを活用した、EC連動/電子チケット/事前決済システムの開発等新たなサービス展開	
	社会の教育や文化発展への貢献	●ROCK IN JAPAN FES2022キャンペーン/ジェフユナイテッド市原・千葉応援キャンペーン ダブル開催 ●ジェフユナイテッド市原・千葉ペリエマッチデー ●LED発車標を活用した、地元チーム千葉ロッテマリーンズの応援 ●(産学連携)JR千葉駅主催 県内農業関係高校生による生産物販売実習会 開催 ●千葉市主催「ちばフェアトレードマーケット2023」開催 ●千葉市夏休みおしごと感動体験ワクワクワークデー2022 ●(産学連携)「千葉県経済大学附属高等学校の生徒による販売実習会」開催 ●(産学連携)千葉市大賀ハス開花70周年記念事業 ちば産学官連携プラットフォーム連携 モザイクアート展開 ●(産学連携)千葉ビューティ&ブライダル専門学校 パーソナルカラー診断 ●(産学連携)敬愛学園 カリキュラムへの連携「稲毛イメージ」授業への参画 ●第二海浜幕張保育園との七夕(笹飾り)、クリスマスイベントの実施	
	働き方、暮らし方の向上	●幕張ベイパークエリアマネジメント【B-Pam】とSDGsの取り組みについて意見交換会 ●「ひろえば街が好きになる運動」参加 ●オフィス町内会 継続参加 ●本社移転(ペリエ+plusビル)、組織編制等、働き方の効率化とサービス品質の向上 ・社内庶務業務(稟議・経理・契約等)の電子化 ・コミュニケーションツールの活用(Teams/Zoom等) ・テレワーク/WEB会議/フレックス勤務推進 ・組織再編	
	※社会的な課題を解決		
	※地域社会の発展		
	※SDGsの達成		
	●ガバナンス	内部統制	内部統制委員会の確立/3ラインの強化
		リスクマネジメント	リスク対応標を活用したリスクマネジメント、内部監査結果に基づく改善案の検討等
		コンプライアンス	定期的な全社員研修の継続実施
		※果敢なチャレンジを支援	
	※事業の持続的成長と、中長期的な企業価値向上		

